

## 第2回芸術会館美楽来美術品収集懇話会 会議記録

日 時 平成26年11月28日(金) 午後2時～  
場 所 生駒市コミュニティセンター205会議室  
出席者 平田静太郎(学校法人聖心学園理事長)  
松村清孝(奈良市杉岡華邨書道美術館学芸員)  
早川英雄(教育長)  
事務局 影林生涯学習部長、西野生涯学習課長、錦生涯学習課長補佐  
福山生涯学習文化係長、村上生涯学習課

### 1. 開会(事務局)

事務局：それでは、懇話会を始めさせていただきます。まず、本懇話会の公開、非公開につきましては、平成24年6月開催時に、作品の利害関係人については、非公開とし、議事録を後日公開することで会議の透明性は担保するというご意見がございましたので、引き続き非公開とさせていただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。

参加者：承諾

事務局：では、今回も非公開とし、議事録を公開することとさせていただきます。

事務局：この会議を進行いただく座長を決めていただきたいと思います。  
座長は、参加の皆様の互選で決めていただくことになっております。

座長選出：平田静太郎先生 選出

### 座 長 挨 拶

案 件 1 「収集作品に対する意見及び助言について」

座 長：書道作品4点についての意見を求める。

その前に、甫田鶏川氏の作品は多数を寄贈にて収蔵しているので、特に日展に出展された作品を寄贈していただけるとありがたいとい

った意見があったと記憶している。その観点から、まさに日展出展作品 4 点の寄贈申出をいただいている。こちらの申出を快諾いただいたのではないかと思う。本日、寄贈作品は持ってきているのか。

参加者：こちらにはない。

参加者：4 点目の作品は現時点で日展に出展されている。

#### 事務局より作品の説明

座長：何か質問はないか。

参加者：前回の懇話会では、収蔵スペースに限りがあるので収蔵作品を絞らせていただくこととなった。その一つの条件枠が日展に出展された作品ということで事務局も心掛けてきたところである。地元のご高名な方であるし、その方のご厚意で日展出展作品に絞って寄贈申出いただいているので、私としては、寄贈の申出を受けてはどうかと思う。

座長：ほかに意見はないか。

参加者：現代作家の作品は、まとまって保存されることが難しい。個人の努力や、奈良市であれば杉岡華邨氏の作品を一同に集めることができた。現代作家の作品を残していくのは難しいのが現状である。作品の中でも、日展の出展作品というのは作家の書風が変遷していく中で軸となるもので、その作品が年代を追って見られるかたちで保存されるというのは非常に有意義なことだと思う。

今回の作品は、おそらく晩年に差しかかった時代のわずか 4 年の間で、これほど甫田氏の書風、作品の変化がみられる。後の時代に甫田鶏川という作家を検証していくうえで、このような作品が残るのは非常に素晴らしいことだと思う。

座長：いろいろなご意見、貴重なアドバイスがあり、参考にしたい。皆さんに異存がなければ収蔵を受け入れるということでよいか。



参加者：一同承諾

案件 2 「その他」

参加者：特になし

事務局より本日の会議でいただいた貴重な意見を参考に、教育委員会で受贈の判断をする旨を説明

以上

会議終了